

阿蘇市下水道事業 中期経営計画
達成状況 最終報告

平成 22 年度

(事業費)

(単位：千円)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
計画	586,000	600,000	600,000	500,000	500,000
実施	586,000	600,000	600,000	300,000	300,000

(主要施策)

施策名	内容	
黒川処理区整備	計画	元黒川、坊中地区の一部の整備 (H17年度から)
	実施	幹線管渠整備 (H17～H19) ・・・成川～黒川 黒川地区整備 (H20～) ・・・約 30ha (北黒川、元黒川、坊中地区の一部)
浄化センター改築更新	計画	浄化センター機器老朽化に伴う改修工事
	実施	浄化センター再構築事業・・・第1期 (H21～H26) ・ 改修調査・計画・設計 (H18～H20) ・ 改修着工 (H21)
成川中継ポンプ場建設	計画	黒川処理区成川ポンプ場建設 (H18年度から)
	実施	成川汚水中継ポンプ場建設事業 (H18年度から) ・ 用地買収 (H18) ・ 建設工事 (H18～H20) ・ 運転開始 (H20)
不明水調査	計画	管渠の老朽化による不明水流入調査
	実施	・ カメラ調査 (H18～H20)・・・約 3,000m ・ マンホール・樹調査 (H19～H21)・・・約 3,100箇所 ・ 管補修 (H18～H21)

3. 整備事業とその達成状況

管渠整備

下水道普及のための管渠整備では、成川汚水中継ポンプ場の建設とともに黒川処理区（阿蘇駅中心に約 30ha）の汚水管渠整備を行いました。

この結果、平成 21 年度末で認可区域 373ha のうち約 78%の 291h が整備完了となり、約 5,500 人の公共下水道施設利用が可能となりました。

(下水道普及率)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
計画 (%)	16.7	17.6	18.1	21.5	23.6	※阿蘇市全体人口 約 29,000 人 (H21)
実施 (%)	15.7	16.4	18.0	19.1	19.0	
整備済み面積 (ha)	228.0	230.0	248.5	273.0	291.2	実施計画面積 (373ha)

普及率＝整備区域内人口÷阿蘇市全体人口

H21 年度普及率・・・整備区域内人口減少のため、前年度より減少

(水洗化率及び水洗化人口)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	備考
計画	76.5	79.2	81.2	82.5	83.2	水洗化率 (%)
実施	77.7	77.8	71.8	70.1	72.0	水洗化率 (%)
	3,668	3,764	3,828	3,927	3,963	水洗化人口 (人)

水洗化率＝下水道区域内繋ぎ込み人数÷整備区域内人口

施設整備 (浄化センター改築)

汚水増加対応や機器老朽化対策に伴う浄化センター改築更新では、平成 18 年度～平成 20 年度に調査・計画・設計を行い、第 1 期の改築 (平成 21 年度～平成 26 年度) に着工しました。

第 1 期の大規模改修・・・H21～H24 予定

第 1 期の増設 (1 系列)・・・H25～H26 予定

4. 経営基盤強化とその達成状況

収支及び企業債

公営企業経営健全化を目的としまして、平成 19 年度から平成 21 年度の 3 ヶ年計画で、公的資金補償金免除となる繰り上げ償還を行い、約 80,000 千円の効果額を得ました。

(繰上げ償還による効果額)

(単位：千円)

年度	19年度	20年度	21年度
利子効果額	10,927	43,980	25,530

(企業債現在高)

(単位：千円)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
計画	3,069,259	3,216,059	3,040,364	3,125,944	3,213,309
実施	3,069,259	3,216,060	3,337,216	3,322,281	3,350,700

不明水及び管渠改修

汚水管渠への不明水流入改善を目的としまして、施工後長期の期間を経過している内牧地区の枝線管渠の調査修理を実施しました。また、平成21年度には、幹線管渠の長寿命化計画補助事業に取り組む事前資料収集を行い、平成22年度からの計画策定の準備が整いました。

(有収水量)

(単位：m³)

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
計画	682,000	698,000	714,000	730,000	746,000
実施	669,818	644,481	668,128	642,594	669,273

5. 経費節減等とその達成状況

定員管理

一般会計に準じました管理職手当・特殊勤務手当等、諸手当の調整および阿蘇市定員適正化計画に沿った人員調整による人件費削減に取り組みました。

年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
職員数	7	7	7	6	6

アウトソーシング

下水道施設の維持管理費は、下水道普及に伴います施設設備の増加と施設老朽化による増加が懸念されています。

この維持費のコスト縮減を目的としまして、指定管理者制度及び包括民間委託等の検討を行い、一定の性能確保を条件に複数年契約（初回はH21～H23）での包括的民間委託を導入しました。

これにより試算では約2,000千円／年の節減を実現しております。